

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価				10051	こおりやまスポーツイノベーション事業					文化スポーツ観光部	スポーツ振興課
		中事業番号		1703								所属コード	162000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図(目的)	
大綱(取組)	Ⅳ「誰もが地域で輝く未来」	3.4	○	2-2	○					○	本市を拠点とするトップスポーツチームや大学の資源・知見を活用した事業を展開するとともに、スポーツ環境の充実・整備を図る。	市民の健康増進や多様なスポーツへの参画を促進するとともに、スポーツ環境の充実・整備を図ることにより、地方創生を推進する。	
施策	2 好きなこと、得意なことを地域で学び生かせるまち												

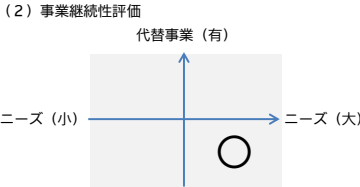
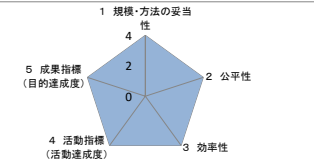
事業開始時周辺環境(背景)		現状周辺環境		今後周辺環境(予測)		住民意向分析	
市民の運動機会の創出と、ポストコロナ社会における新たなスポーツ振興と競技力向上の在り方が求められている。		トップスポーツの試合を観戦できる機会が増え、大学や関連企業との協定に基づく連携事業の実施により、市民のスポーツへの関心も高まってきた。		トップスポーツチームに触れ合える機会の創出と、スポーツ推進プログラムやICTを活用した新たなスポーツ振興事業は地方創生を推進するうえで、ますます重要となってくる。		運動機会の創出とスポーツによる健康増進、子どもの運動能力向上とスポーツを通じたキャリア教育、プロスポーツ等による非日常体験が求められている。	

2 事業進捗等(指標等推移)			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名			2022年度(令和4年度)		2023年度(令和5年度)		2024年度(令和6年度)		2025年度(令和7年度)		2026年度(令和8年度)		2027年度		中間指標	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	2021年度	最終指標
対象指標	市民	人		324,586		322,515		319,680								
活動指標①	スポーツ推進プログラムを活用した教室等回数	回	50	115	50	205	50	259	50		50		50			
活動指標②	ICTを活用した部活動の実施学校数(R5まで)/ICT等を活用した部活動の実施部活動数(R6から)	校/部活動	5	4	5	4	4	3	4		4		4			
活動指標③	プロスポーツ等魅力発信事業実施回数	回	6	10	8	10	8	9	8		8		8			
成果指標①	運動・スポーツ実施率(R5まで)/スポーツ推進プログラムを活用した教室等参加者数(R6から)	%/人	62	53	66	76	1,000	6,565	1,000		1,000		1,000		62	1,000
成果指標②	ICTを活用した部活動支援の実施回数(R5まで)/ICTを活用した部活動支援の参加者数(R6から)	回/人	100	27	50	56	400	245	400		40		400		100	400
成果指標③	プロスポーツ等公式戦観戦者数	人	31,000	44,839	32,500	36,287	5,000	13,907	90,000		90,000		90,000		31,000	90,000
単位コスト(総コストから算出)	市民1人あたりのコスト(R5まで)/各参加者数等1人あたりのコスト(R6から)	千円		0.18		0.23		4.39	0.8		0.8		0.8			
単位コスト(所要一般財源から算出)	市民1人あたりのコスト(R5まで)/各参加者数等1人あたりのコスト(R6から)	千円		0.04		0.03		6.5	0.12		0.12		0.12			
事業費		千円		45,716		62,340		77,623	114,392		114,392		114,392			
人件費		千円		11,531		11,088		13,396	11,088		11,088		11,088			
蔵出計(総事業費)		千円		57,247		73,428		91,019	125,480	0	125,480	0	125,480	0		
国・県支出金		千円		19,650		28,198		33,427	22,001		22,001		22,001			
市債		千円														
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円														
その他		千円		26,057		34,148		44,194	92,391		92,391		92,391			
一般財源等		千円		11,540		11,082		13,398	11,088	0	11,088	0	11,088	0		
蔵入計		千円		57,247		73,428		91,019	125,480	0	125,480	0	125,480	0		
		実計区分	評価結果	拡充	継続	継続	継続	継続	継続							

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費(事業費・人件費)分析結果	
トップスポーツチームの知見を活かした「スポーツ推進プログラムを活用した教室等回数」は計画値を大きく上回る回数を行うことができた。他の活動指標もおおむね計画値を達成した。		開成山地区体育施設のリニューアルオープンにおいて、Bリーグ及びVリーグが開催され、多くの観戦者にハイレベルな試合を体験していただいたところである。他の成果指標もおおむね計画値を達成した。		【事業費】 応援寄付金及び国庫補助金を活用し、一般財源の削減が図られた。 【人件費】 本市をホームタウンとするトップスポーツチームが2チームになったことを受け、相互連携や各種調整等の業務が増加している。	

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		4
3 効率性		4
4 活動指標(活動達成度)		4
5 成果指標(目的達成度)		4



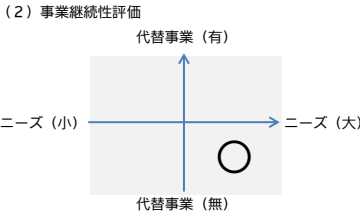
拡充	一次評価コメント
開成山地区体育施設が大幅に機能向上したこと及び本市をホームとするトップスポーツチームが2チームになったことを受け、全ての市民がスポーツを「する、観る、支える」など様々な形でスポーツに触れていただくため、チームの活動を支援する他、チームが有する様々な知見を市民に還元できるように、トップスポーツチームとの連携を加速させていく必要がある。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス(会議レス)
	○				○

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標(活動達成度)		4
5 成果指標(目的達成度)		4



拡充	二次評価コメント
スポーツ推進プログラムを活用した教室等回数は計画を大きく上回る実績を達成し、さらなる市民参加を促す基盤が整備された。一方で、ICT等を活用した部活動の実施部活動数は計画値には達しておらず、ニーズに沿った普及啓発の検討が必要である。 本事業は、本市におけるスポーツ環境の充実・整備のみならず、地方創生の観点からも極めて重要である。特に、開成山地区体育施設のリニューアルによるトップスポーツチームの知見を活かした更なる事業展開が、今後の地域振興及び市民の健康増進に寄与することから、拡充して事業を実施する。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画